

市民主体のつながりの経済を築く ー日本・スペインの社会的連帯経済ー

世界の格差や貧困問題取材し続けてきたジャーナリストの工藤律子さんから、資本主義に代わるつぎの経済として、世界で推進されている「社会的連帯経済」＝つながりの経済の事例をご紹介します。これからの労働や生活について、工藤さんが感じてきたこと、考えてきたこととお伺いします。



日時：2025年11月27日(木) 19:00～20:30

会場参加：駒澤大学会館246 7-1・7-2

オンラインあり／参加無料／要参加申込

講師：工藤 律子（ジャーナリスト）

東京外国語大学地域研究研究科修士課程在籍中より、メキシコの貧困層の生活改善運動を研究するかたわら、フリーのジャーナリストとして取材活動始める。著書に『ルポ つながりの経済を創る スペイン発「もうひとつの世界」への道』（岩波書店）、『働くことの小さな革命 ルポ 日本の「社会的連帯経済」』（集英社新書）などがある。



聞き手：松本 典子（現代応用経済学科ラボラトリ所長）
宮田 惟史（駒澤大学経済学部教授）



主催：駒澤大学経済学部

共催：駒澤大学経済学部

現代応用経済学科ラボラトリ

お申込みは
フォームから



<https://forms.gle/FZmRrKtsT3eyhkEZA>